



東亜ディーケーケー株式会社
平成30年3月期第1四半期決算補足説明資料
(東証1部:6848)

平成29年7月

- 主力の環境プロセス分析計の国内販売増加、医療関連機器の生産拡大、中国向け輸出の伸長等により増収
- 収益は、売上高の増加と売上原価率の改善により増益
- 単月黒字化**94ヶ月**連続記録更新中(平成21年9月から7年10ヶ月)

(単位:百万円)

	H28.1Q 実績	H29.1Q 実績	前年同期比増減	
			金額	%
売上高	2,970	3,091	121	4.1
営業利益	89	178	88	99.4
経常利益	121	185	63	52.0
四半期純利益	27	73	45	167.6

計測機器事業

売上高3,028百万円(3.9%増)、セグメント利益328百万円(29.6%増)

- 国内は、主に基本プロセス機器、医療関連機器及び電極・標準液が増加
- 海外は、前期から引き続き中国向け環境用水質計が順調に推移
- 利益面は、売上高の増加と売上原価率の改善により増益

不動産賃貸事業

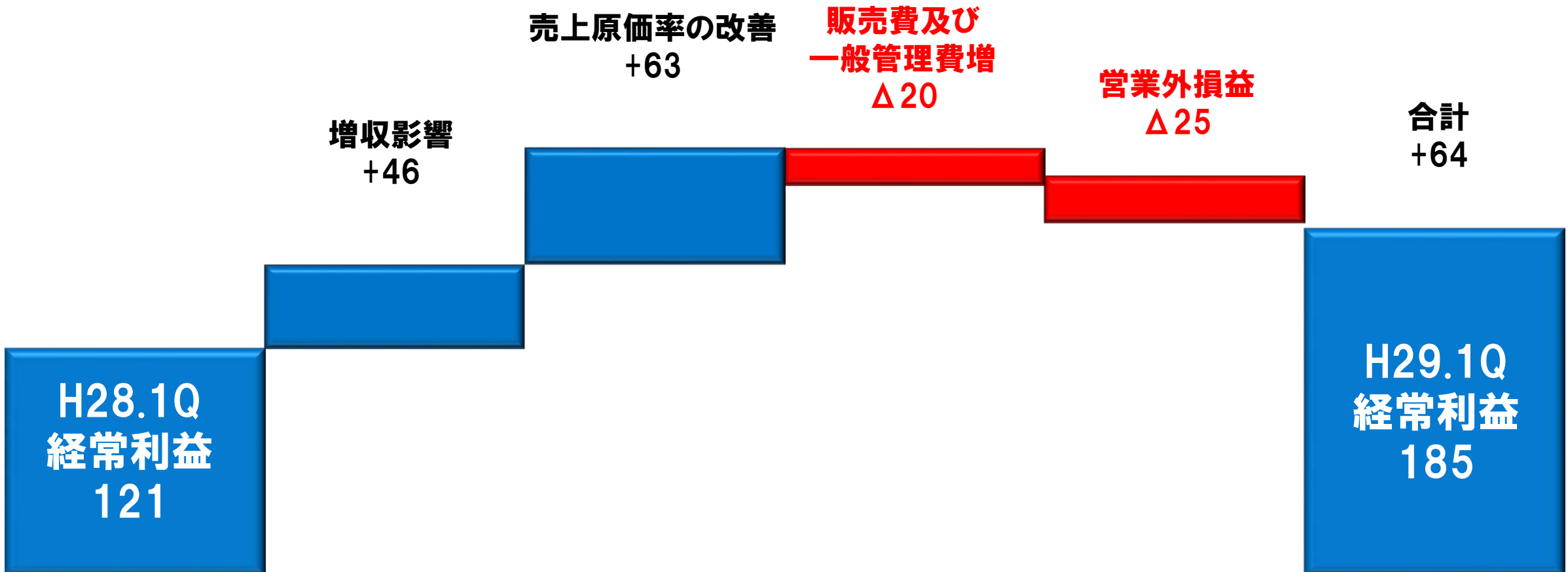
売上高63百万円(11.5%増)、セグメント利益39百万円(27.9%増)

- 前年度に購入した本社隣接土地を時間貸し駐車場運営会社に賃貸開始し増収・増益

第1四半期経常利益増減分析



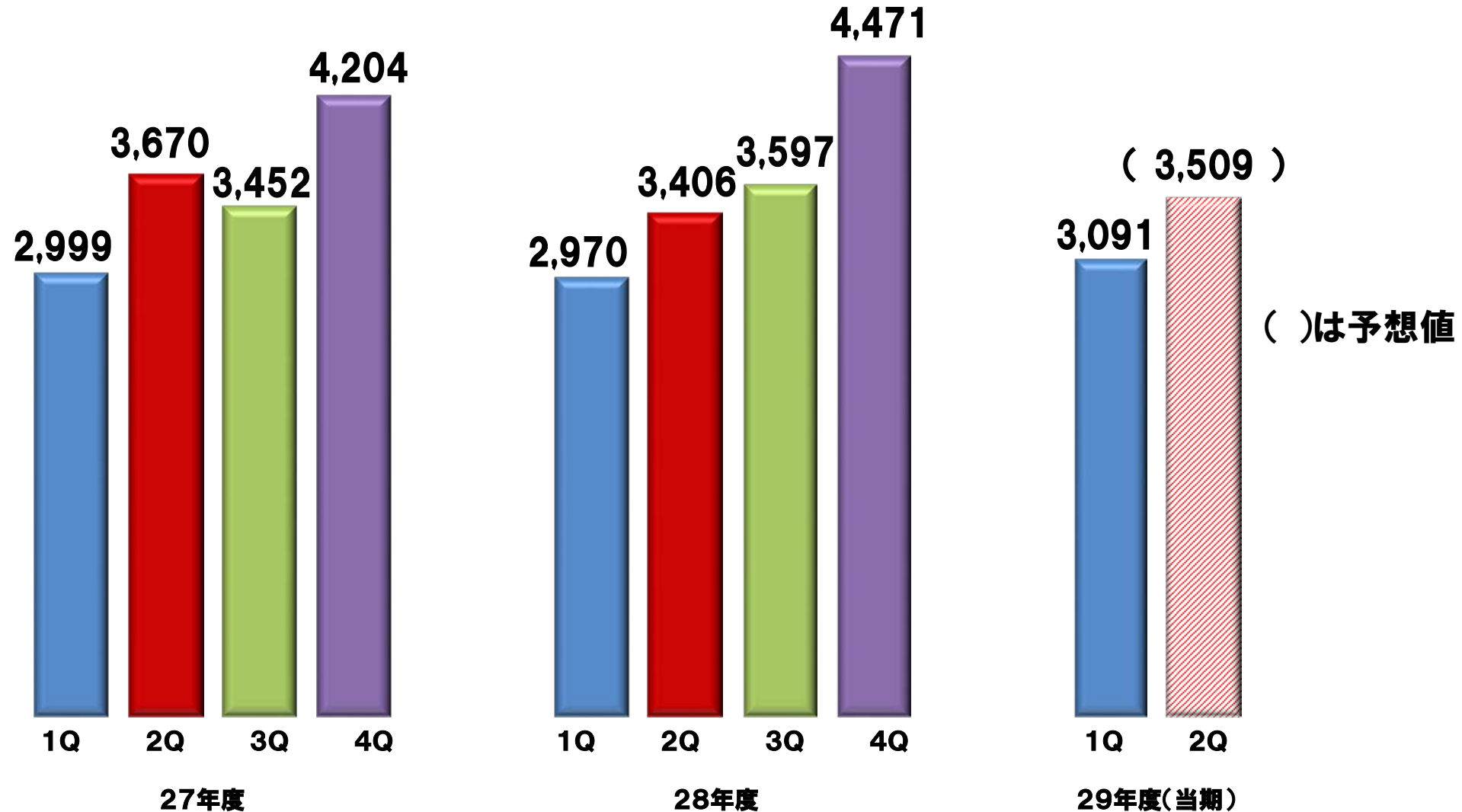
(単位:百万円)



四半期別経営成績（売上高）



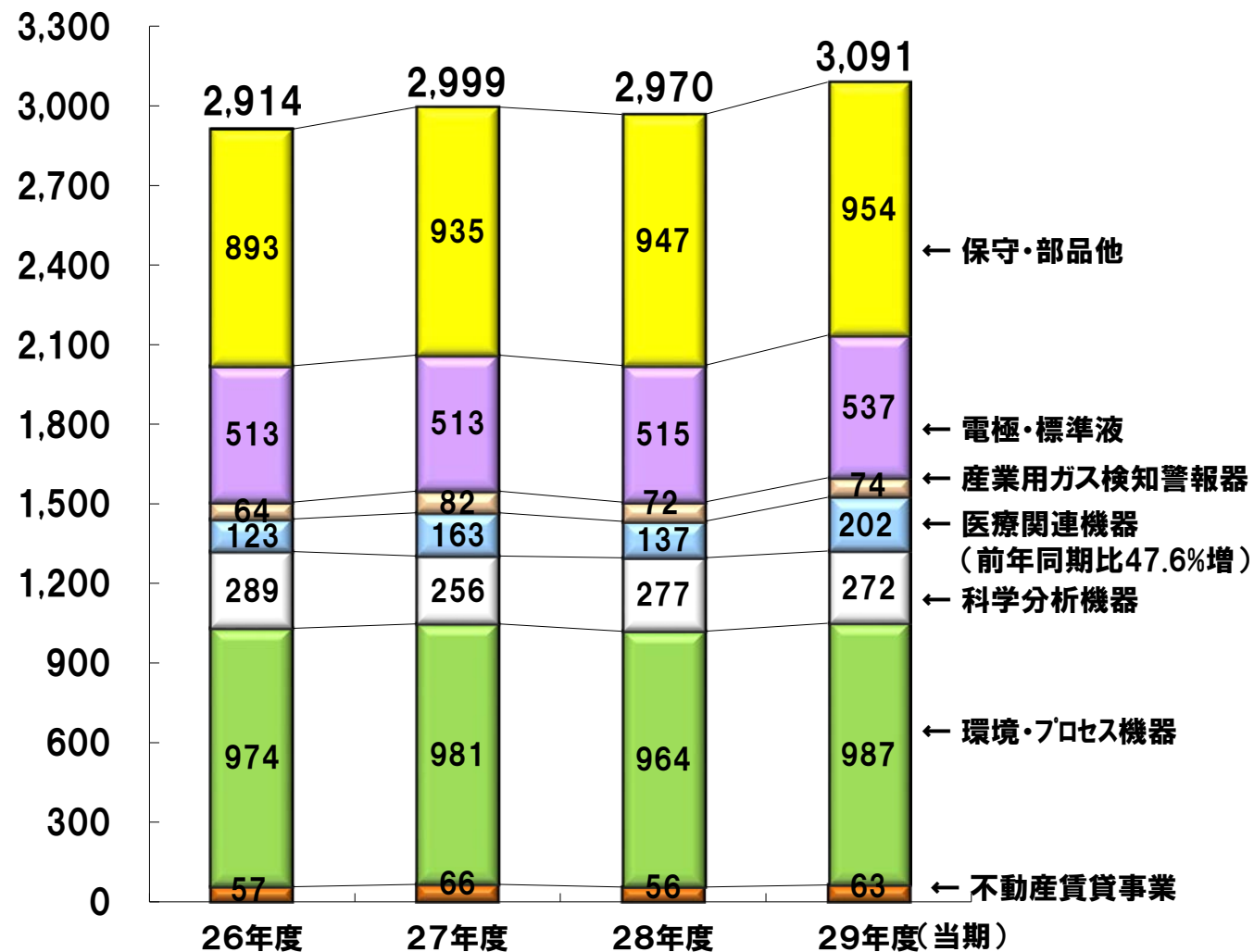
（単位:百万円）



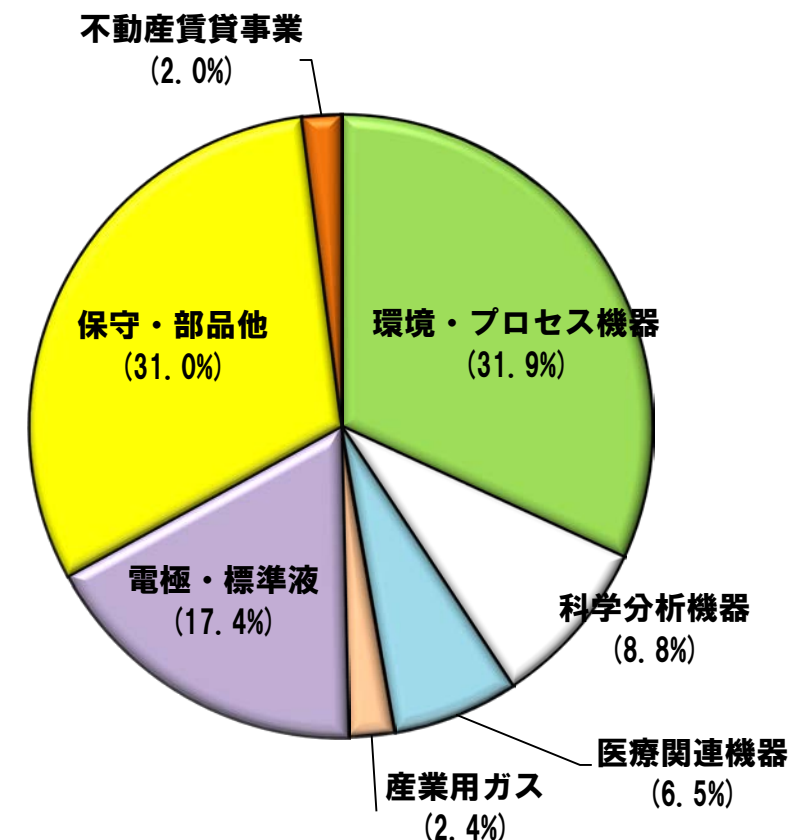
第1四半期売上高推移と構成比

売上高推移

(単位：百万円)



売上高構成比(当期)

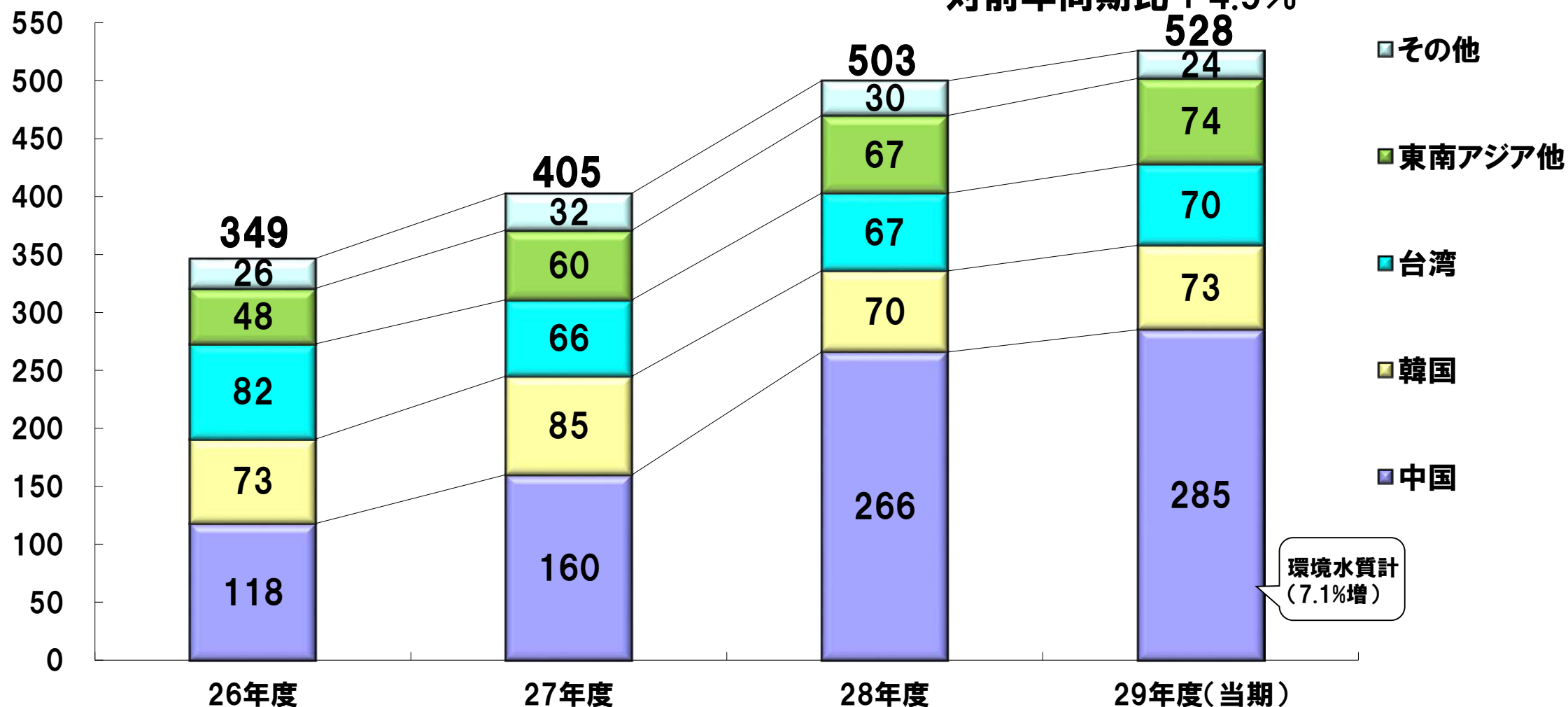


第1四半期海外売上高推移

海外売上高推移

海外売上高比率17.1%
対前年同期比+4.9%

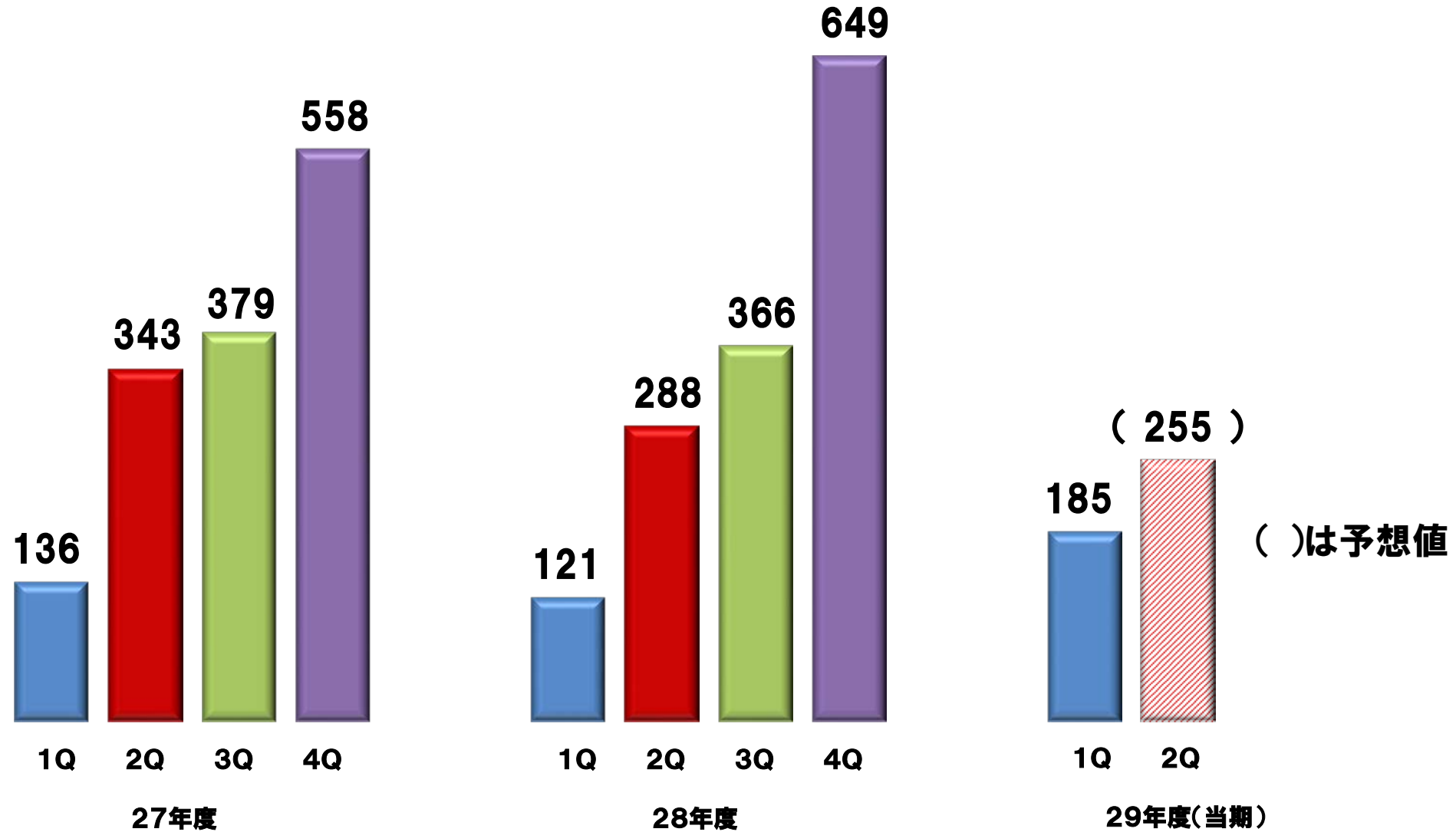
(単位:百万円)



四半期別経営成績（經常利益）



（単位:百万円）



貸借対照表及び損益計算書(要約)



貸借対照表

(単位:百万円)

	前期 29年3月末	当期 29年6月末	増減額
(資産の部)			
流動資産	12,991	12,331	※△659
固定資産	6,994	7,328	333
有形固定資産	4,165	4,402	※237
無形固定資産	271	239	△31
投資その他の資産	2,558	2,686	128
資産合計	19,986	19,660	△325
(負債の部)			
流動負債	2,922	2,783	△139
固定負債	3,294	3,149	△144
負債合計	6,216	5,932	△283
(純資産の部)			
株主資本	12,992	12,807	△184
その他の包括利益累計額	777	920	142
純資産合計	13,769	13,727	△41
負債純資産合計	19,986	19,660	△325

※現金及び預金、受取手形及び売掛金の回収が進み減少
 ※医療関連機器新工場建設による増加

損益計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期 28年4月1日 28年6月30日	当第1四半期 29年4月1日 29年6月30日	増減額 (増減率)
売上高	2,970	3,091	※121
売上原価	1,845	1,857	12
(売上原価率)	(62.1%)	(60.1%)	※(△2.0%)
売上総利益	1,125	1,234	108
販売費及び一般管理費	1,035	1,055	20
(販管費率)	(34.9%)	(34.2%)	(△0.7%)
営業利益	89	178	88
(営業利益率)	(3.0%)	(5.8%)	(+2.8%)
営業外収益	35	10	△25
営業外費用	2	3	0
経常利益	121	185	63
(経常利益率)	(4.1%)	(6.0%)	※(+1.9%)
特別利益	0	-	0
特別損失	0	0	0
税金等調整前四半期純利益	121	184	63
法人税等	94	111	17
四半期純利益	27	73	45

※売上高の増加と売上原価率の改善で利益は増加

平成30年3月期業績予想(修正なし)



・ 国内では環境省第5次水質総量規制時に販売した機器の更新需要に注力、海外では中国をはじめとするアジア地区に積極的な営業活動をしております。また、大手医療機器メーカー向け生産も開始され大きく寄与するものと考えております。

しかしながら、建築中の医療関連機器新工場の償却費負担、その他諸経費も発生しますので、コスト削減、生産性の向上など体質強化の取り組みを進め、期初の利益を確保する所存です。

・ 現時点で平成29年5月9日に公表の第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正はありません。

(単位:百万円)

	H29.3 実績	H30.3 予想	増減	
			金額	%
売 上 高	14,445	15,000	554	3.8
営 業 利 益	1,365	1,470	104	7.7
経 常 利 益	1,426	1,500	73	5.1
当 期 純 利 益	1,226	1,000	Δ 226	Δ 18.5

(1) インドAIC社と販売代理店契約締結



平成29年6月、インド北部に本社を置くAIC社(Analyser Instrument Co.)と販売代理店契約を締結しました。同国における当社の販売代理店はこれで3社目となります。

日本大手メーカーの代理店も務める同社は、発電所や現地大手企業へ多くの販売実績を持ち、サービスメンテナンスも行っています。

この販売網拡充により成長著しいインド市場での更なる売上拡大を目指します。



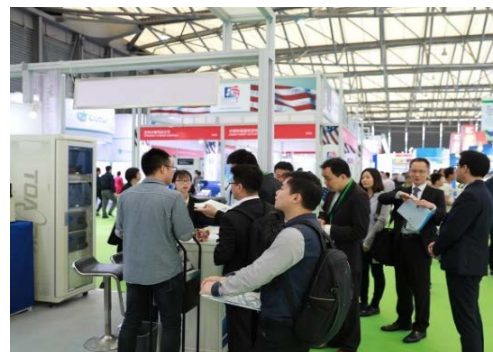
(2) 海外の大規模展示会に出展



平成29年5月、アジア最大規模の環境博覧会
“第18回中国環境博覧会 IE expo 2017”に出展

深刻化するPM2.5問題の原因物質の一つであるVOC(揮発性有機化合物)の排出抑制が大変注目されています。

当社は日本での豊富な実績をもとに中国向けに改良したVOC分析計を展示し盛況を博しました。



平成29年6月、ENVEX 2017 に出展
(第39回 International Exhibition on Environmental Technology & Green Energy)

当社主力製品である水道水用水質自動測定装置(写真右)やラボ用水質計の他に、昨年12月に韓国国家認証を取得したPM2.5測定装置(写真左)を展示しPRLしました。



1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜お問い合わせ＞
東亜ディーケーケー株式会社
経営戦略部 経営企画課

電話：03-3202-0242
メール：ir@toadkk.co.jp
URL：<http://www.toadkk.co.jp/>